

資料 I

事業実施要綱等

岡山県地域リハビリテーションリーダー育成・広域派遣事業 実施要綱

(目的)

第1 後期高齢者及び高齢者のみ世帯の増加に伴い、今後も増加する要支援・要介護高齢者が、住み慣れた地域で可能な限り自立した日常生活を継続できるようにするため、市町村において、介護予防事業、地域ケア会議等にリハビリテーション専門職(理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士をいう。以下「リハ職」という。)を必要とする機会が増えることから、これに対応する人材を育成するとともに、リハ職の広域派遣調整の体制整備を図ることを目的とする。

(実施主体)

第2 岡山県

事業の全部を(一社)岡山県理学療法士会、(一社)岡山県作業療法士会及び岡山県言語聴覚士会による合同組織「岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会」(以下「リハ団体連絡会」という。)に委託して実施することとする。

(事業内容)

第3 次の1から3までに掲げる事業、その他地域リハビリテーション育成・広域派遣に必要な事業を実施する。

1. 地域リハビリテーションリーダーの育成

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の中堅クラスの者の中から、市町村事業に参加協力する上で中核的な役割を担う地域リハビリテーションリーダー(以下、「リーダー」という。)を育成するため、地域診断、マネジメント、その他資質向上に資する内容の研修を実施する。

2. 市町村事業に参加協力するリハ職のOJT

リーダー以外のリハ職に対し、予め、スタートアップ研修を実施し、市町村事業に関する理解を深めるとともに、市町村事業に参加した後、さらにフォローアップ研修を実施することにより、市町村事業に必要なスキルの向上を図る。

また、リハ職間における情報の共有を図るためのツールの整備を行う。

3. 市町村事業に対するリハ職の広域派遣調整

市町村に対し、次年度のリハ職の派遣希望を照会するとともに、リハ職の派遣調整を行い、結果を市町村に通知する。なお、市町村に対する連絡窓口を設けることとする。

4. その他の事業

本事業を円滑に遂行するために、必要に応じて、リハ団体連絡会、県及び市町村等による会議を開催する。

この要綱は、平成27年8月17日から施行する。

岡山県リハビリテーション専門職による市町村支援事業 実施要領

1 趣旨

この要領は、岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会が、市町村の求めに応じて、市町村の実施する地域支援事業に対し、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士（以下、この要領において「リハ職」という。）による支援を行うに当たり、必要な事項を定めるものである。

2 実施主体

岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会

（以下、この要領において「リハ団体連絡会」という。）

3 リハ職支援の流れ

〈支援希望回数等の照会〉

(1) リハ団体連絡会は、市町村に対し、毎年度1月に、次年度におけるリハ職による支援希望回数等を照会する。なお、1月に回答できなかつた市町村に対しては、翌月に追加的に照会する。

〈市町村の回答〉

(2) 市町村は、リハ団体連絡会の会員であるリハ職の支援を希望するときは、上記(1)の照会に対して、支援依頼文【様式1の1】を添えて、【様式1の2】により年間の支援希望回数等を回答することとする。

〈調整結果の通知〉

(3) リハ団体連絡会は、市町村の希望に沿って会員の調整を行い、毎年度3月に、支援を希望する市町村に対し、結果を通知する。

〈リハ職の所属施設長への依頼〉

(4) 市町村は、上記(3)で決定したリハ職（以下、この要領において「担当リハ職」という。）による支援を受けるに当たり、予め、担当リハ職の勤務する施設長に対し、当該年度における担当リハ職の協力について、書面で依頼する。
（参考様式のとおり）

〈事前連絡〉

(5) 市町村は、担当リハ職に対し、予め、支援を求める事業の概要等について、【様式2】により、連絡することとする。

〈変更調整〉

(6) 日時、事業内容、担当リハ職の変更が生じたときは、市町村及び担当リハ職の

相互で調整を図るものとする。

4 費用負担

市町村は、リハ職支援に係る費用を、役務費又は委託料として、次のとおり負担するものとする。

なお、委託料として支払うときは、市町村とリハ団体連絡会との間で、別途、委託契約を締結するものとする。

リハ職一人につき	半日につき	6,000円 (交通費を含む)
	一日につき	11,000円 (交通費を含む)

〈時間区分〉

支援時間の長さに関わらず、次の時間帯において支援する場合をいう。

半日：9時～13時又は13時～17時 の時間帯

一日：9時～17時

5 支払の流れ

(1) リハ団体連絡会は、市町村に対し、リハ職支援の実績に基づいた額を、四半期ごとに請求するものとする。

出張支援を行った期間	請求日	支払期限
4月～6月	6月末日	7月末日
7月～9月	9月末日	10月末日
10月～12月	12月末日	1月末日
1月～3月	3月末日	4月末日

(2) 市町村は、上記(1)の額を、リハ団体連絡会の指定する口座に振り込むものとする。

附 則

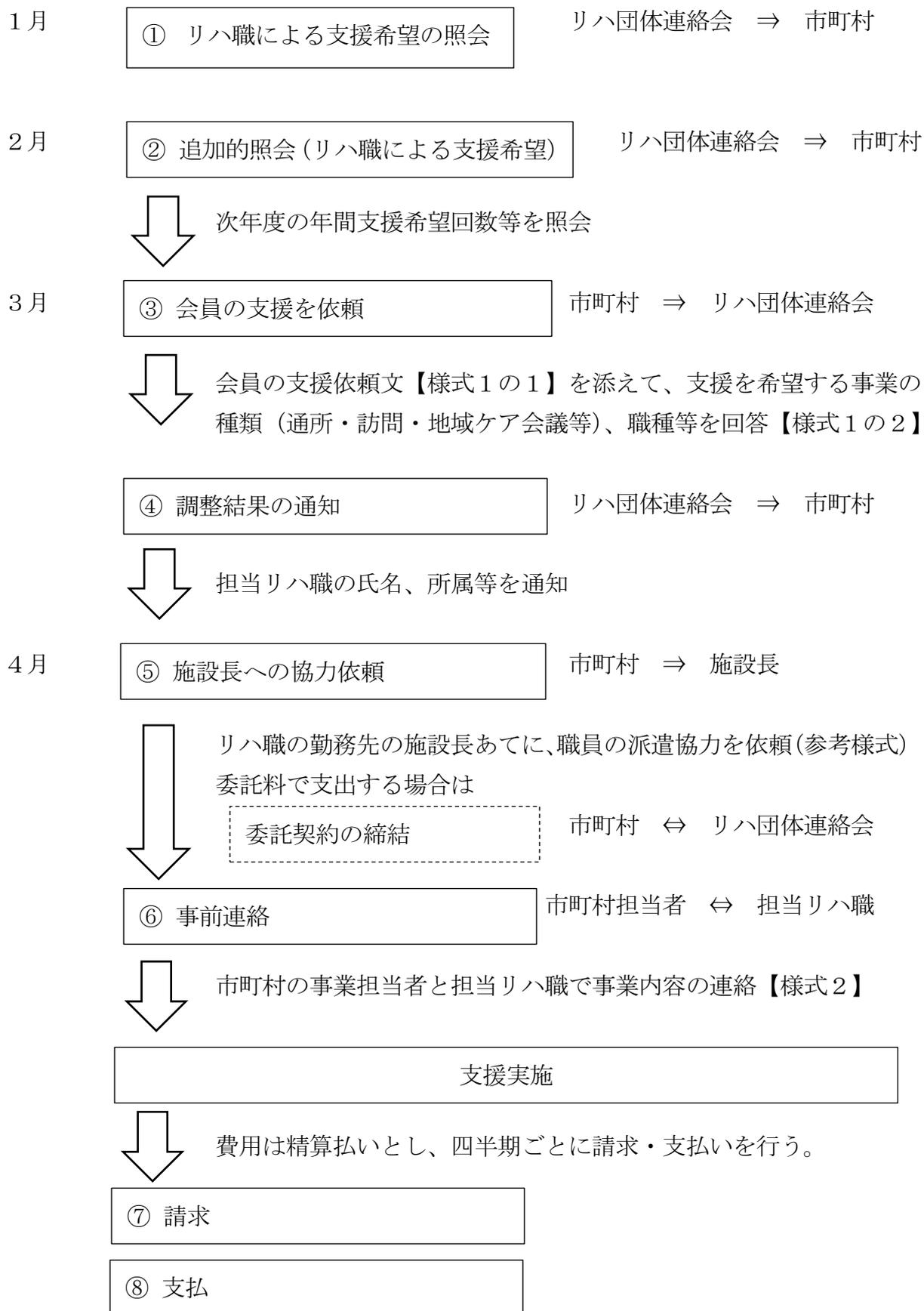
この要領は、平成27年度分の事業から適用する。

附 則

この要領は、平成30年度分の事業から適用する。

(別表)

リハ職による支援の流れ



【 様式 1 の 1 】

第 号
平成 年 月 日

岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会

会長 國安 勝司 殿

〇〇市（町村）長 〇〇〇〇

印

会員による支援について（依頼）

このことについて、別添のとおり、会員による支援をお願いします。

記

添付資料

【様式 1 の 2】平成 年度リハビリテーション専門職による支援希望について

【 様式 1 の 2 】

平成 年度 リハビリテーション専門職による支援希望について(回答)

市町村		課室		電話	
担当者		電子メール			

月	回数	日にち	事業の種類				職種別人数			備考
			通所	訪問	ケア会議	研修講師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
1月										
2月										
3月										
合計							0	0	0	
職種未定							()	()	()	

【様式2】 リハビリテーション専門職支援依頼連絡票

記入日 平成 年 月 日

市町村名		課室 担当者名		連絡先	
------	--	------------	--	-----	--

【事業について】

事業名	
実施日時	
実施場所	
対象者等	

【支援を依頼したいリハビリテーション専門職の職種と人数】

<input type="checkbox"/> 理学療法士(PT)()名	<input type="checkbox"/> 作業療法士(OT)()名	<input type="checkbox"/> 言語聴覚士(ST)()名
--	--	--

【リハビリテーション専門職に依頼したい支援の内容】

事業の種類	通所	訪問	地域ケア会議	研修講師
-------	----	----	--------	------

※該当する事業を○で囲んでください。

事業における支援内容

		該当に✓	具体的にお書き下さい
集団指導	評価	<input type="checkbox"/>	
	活動内容の提案	<input type="checkbox"/>	
	参加場面での助言と指導	<input type="checkbox"/>	
	環境調整	<input type="checkbox"/>	
	講演・情報提供	<input type="checkbox"/>	
個別指導	評価	<input type="checkbox"/>	
	活動内容の提案	<input type="checkbox"/>	
	参加場面での助言と指導	<input type="checkbox"/>	
	環境調整	<input type="checkbox"/>	
ボランティア支援	相談	<input type="checkbox"/>	
	ボランティア養成支援	<input type="checkbox"/>	
	イベント支援	<input type="checkbox"/>	
カンファレンス参加	地域ケア会議への参加	<input type="checkbox"/>	
	その他の意見交換	<input type="checkbox"/>	
その他		<input type="checkbox"/>	

※裏面にリハビリテーション専門職についての説明や支援の例などを掲載しています。

【その他希望・連絡事項など】

--

参考

【リハビリテーション専門職とその専門分野】

理学療法士（PT）…運動機能、基本的動作（座る・立ち上がる・歩くなど）、
日常生活活動

作業療法士（OT）…生活行為（日常生活動作能力、家事・外出・趣味等の活動など）、
認知症支援、福祉用具・住環境の整備

言語聴覚士（ST）…コミュニケーション（聞こえ・ことば）、口腔機能（摂食嚥下）、
認知機能

【リハビリテーション専門職が支援できる内容】

	支援	説明	例
集団指導	評価	集団特性の評価や参加者の個別評価	
	活動内容の提案	活動状態に合わせて無理なく実施できる活動内容を提案	・嚥下体操 ・ストレッチ ・筋力増強訓練 など
	参加場面での助言と指導	提案した活動に参加しながら指導と助言を行う	・食事を一緒に摂りながら栄養や嚥下について助言をする など
	環境調整	集団が利用する場所の環境評価を行い、必要に応じて段差の解消などの改善策を提案	
	講演・情報提供	健康づくりからいきいきとした暮らしの送り方まで、幅広く情報を提供	・認知症、嚥下・栄養、聞こえ、腰痛・膝痛、老化、障害について など
個別指導	評価	身体・認知・嚥下・コミュニケーション機能などの評価、生活機能の評価	
	活動内容の提案	その方に応じた自主練習メニューの作成、調理法や食べ方の助言	
	参加場面での助言と指導		・ご自宅などで動作や作業方法を助言・指導することで、やりたい活動の実現を目指す など
	環境調整		・家屋改修 ・福祉用具の選定 ・杖、靴などの調整 など
ボランティア支援	相談	スタッフやボランティアからの相談を受け付ける	・介助方法 ・痛みなどの心配ごと など
	ボランティア養成支援	講師として講義を行う	・リハビリテーションの理念 ・介助方法論 など
	イベント支援	専門的技術・知識を応用してイベントの支援を行う	・ウォーキングに同行し、コンディショニングや障害予防、応急手当を行う など
参加者	地域ケア会議への参加	その方の生活の視点に立って専門職の立場から具体的な助言を行う	
	その他の意見交換		
	その他		

参考：全国国民健康保険診療施設協議会「新しい総合事業（地域リハビリテーション活動支援事業）にリハビリ専門職の技術を活かすためのメニューリスト及び参考事例集」

